

「平成 26 年度沼津市総合防災訓練」の実施

南海トラフ大地震を想定した総合防災訓練を市内一斉に行います。

■総合防災訓練

南海トラフを震源域とする巨大地震が突然発生したことを想定し、発災直後の応急対策について、的確な対応ができるようになるため、実践的な防災訓練を実施し、災害対策本部体制の強化、防災関係機関の連携、地域の防災体制の確立及び市民の防災意識の高揚を図る。

1 8月31日(日) 9:00 ~ 11:30

実働訓練として、会場型訓練、各自主防災会が計画する訓練などを実施

(1) 会場型訓練(市立第五中学校)

第五地区の住民、防災関係機関が参加し訓練を実施

- 訓練地震発生を合図にシェイクアウト訓練を実施

● 救出救護訓練

警察・自衛隊・消防による救出訓練の後、自衛隊・消防の指導協力の下、自主防災会が救出訓練を実施、また看護協会の指導により三角巾の応急手当てを学ぶ

● 避難生活訓練

避難所開設、自衛隊及び自主防災会による非常食炊き出し、ろ水機取扱及び給水、仮設トイレ設置の訓練を実施

● その他の訓練

災害ボランティア訓練、初期消火、煙体験のほか、防災関係機関による資機材等の展示

(2) 自主防災会が計画する訓練(市内全域)

(3) 市職員の訓練

- 避難地配備職員による各避難地での情報収集と災害対策本部との通信訓練
- 全職員を対象にした情報伝達訓練(職員非常招集連絡網及び携帯メール配信)
- 防災ラジオ緊急放送訓練

2 9月1日(月) 8:30 ~ 10:30

開庁時間に突然地震が発生したことを想定し、BCPIに基づく災害対策本部の運営、各部・各班の初動対応訓練などを実施

(1) 訓練緊急地震速報を合図にシェイクアウト訓練を実施(庁舎内)

(2) 災害対策本部運営訓練

ロールプレイング方式による災害対策本部運営訓練を実施する。訓練人員は、通常業務や各部各班のBCP対応要員、災対本部の交代要員を考慮し、必要最小限の職員で実施(担当職員の1/4程度)

(3) 各部・各班におけるBCPIに基づく発災後1時間の初動対応訓練

(4) 来庁者の安全確保及び訓練火災発生における消火・避難訓練



災害対策本部訓練